

## 株式会社 つくば食品

認定テーマ名：古河産かぼちゃを活用した多用途調味料シリーズ等の商品開発・販売による地域ブランド化事業

### 1. 認定を目指した経緯

つくば食品株式会社は、1995年に古河市で創業して以来、業務用調味料製造を主としてきた。事業を続けていく中、地域の農産物を使って当社の調味料シリーズを発信し、地域の活性化に貢献できないか、と検討していた。

古河市には年間120万人の観光客が訪れる。8月の花火大会、11月の各種産業祭、2月の桃祭りなど、イベント時の集客力が高い反面、観光客の目玉づくりが課題になっていた。また、古河市には農業資産と言えるほど「かぼちゃ」を栽培しているが知名度が低いこと、更には合併を契機にまちおこし事業委員会などで地域商品のブランド化の機運が高まっているとの情報を地元商工会から得た。そこで、古河産のかぼちゃを活用した調味料等を開発して、地域内外の企業や店舗で活用してもらうことにより、かぼちゃを中心とした地域ブランドづくりに貢献できるのではないかと考えに至った。その第一歩として、社内にてかぼちゃを用いたギフト商品などを開発し、社内コンペ後に得意先へ配布しモニタリングを行ったところ好評であり、開発、製造、販売が見込めたことにより、本事業を開始することにした。



株式会社つくば食品社屋



古河産のかぼちゃ



古河関東ド・マンナカ祭り

### 2. 認定事業の現況

認定事業では、かぼちゃのジャムや古河産野菜のソース、かぼちゃペーストを開発し、販売している。現在では、かぼちゃの商品開発で得たノウハウを活かし、古河産野菜や果物のジャムシリーズの開発も進めている。

ジャムは、4年前の開発当初はお得意様に配る目的で作っていた。農家さんから「あまりものを何らかに使えないか？」という問い合わせも相まって着手したのが始まりである。社内のスタッフで自由な発想でシリーズ化した。かぼちゃのジャムに始まり、にんじん、レモン、いちご+さくらんぼ、アールグレイ、かぼちゃの種やクラッシュした果物が入っているミックスジャム、など個性的な他にはなかなかみない種類のジャムにチャレンジした。例えば、アールグレイジャムには茨城県西地域の地域資源である“さしま茶”を使用する等、周辺地域の資源を使うことにこだわってい

るジャムシリーズである。

従業員が皆、意欲的に取り組んだことにより、味のレベルが上がってきたので、2014年の末から、販売用に力を入れ始めた。

まず、2015年に、常陽銀行さんの株主優待ギフトに採用された。また、2015年10月から埼玉県にあるカフェで小瓶のジャム(レモン、かぼちゃの2種類)と業務用(500g)の取扱いとなった。このカフェでは、以前から他にはない変わったジャムを探していたということで、小瓶ジャムは、120gで550円であるが、順調に販売されている。

また、古河産野菜のソースは、主に道の駅で販売しており、すっかり定着して安定的継続的に売り上げている。かぼちゃペーストは、洋菓子店での取扱いが増えた。いずれも、認定事業開始前までの販売先とは違った販路に広げることができ、地域内外の販売店や企業での取扱いを増やすことができた。

商工会では、かぼちゃのキャラクターやマスコットをつくり、ストラップ等の小物を販売し始め、10月の「古河関東ド・マンナカ祭り」には、特産品ブースも出すようになった。そして、平成28年から古河市に農業部会が発足する予定。当社は、農・商・工の「工」の部で参加することになった。この部会が中心となって、古河市周辺地域の活性化につなげていくという主旨である。古河かぼちゃを地域全体から域外へ発信して「かぼちゃの町、古河」として域外の認知度を高める取り組みがさかんになってきた。



古河産かぼちゃジャム(右端)をはじめとした地域の野菜果物を使ったジャムシリーズ



古河産野菜のソース

## 2. 今後の展望(見通し)

首都圏からのアクセスも良く、集客力の高いイベントを多く開催している古河市では、地域のブランド商品を土産品として求める声が多い。当社では、地域の日常食として食されるような地域密着販売を狙うことにより地域の食文化を形成、同時に、かぼちゃ等の食をテーマにした通年の観光客等の集客展開も目指している。

具体的には、先代からの夢でもあるが、食品周辺の総合テーマパークのような『食品総合公園』をつくりたいと思っている。飲食店、物販店、畜産や農業が一体となった施設である。利用者が食の体験ができたりもする。

認定事業では、本格的に小売り向き商品を開発し、そのノウハウを蓄積できた。さらに、3年後をめどに飲食店の営業ノウハウを得るためにF C(フランチャイズチェーン)等での勉強も含めて

考えている。ただ、『食品総合公園』実現のためには、当社だけではできないことは思っている。

この事業を通じて最も効果を実感しているのは、農家さんとのネットワーク。原料の仕入面で安定的な調達が可能になった。また、地域を活性化したいという同じ志をもつ同世代の方々との交流もでき、深耕しつつある。今後の事業を互いに発展させていき、それがこの地域全体に波及できれば良いと思っている。

#### 4. 利用した中小機構の支援策

認定事業の計画をつくることは、新規事業計画策定に大変勉強になった。おかげで初期のスタートダッシュができたと思っている。今までやったことのない事業を始めるのだから、どのように進めたらいいのかわからず、また不安もあった。中小機構の担当の方や商工会連合会の担当の方と一緒に計画づくりを進めていけたので、自信をもって計画を実行に移せた。

まだ、将来に向けてやらなければならないことはたくさんあり、今後の飲食分野の事業や『食品総合公園』の構想も実現に向けて計画を立てていくことになるが、今回の経験を十分に生かしていけると思っている。

#### 5. 企業概要

事業者名	株式会社つくば食品		
本社所在地	茨城県古河市下大野 2000-25		
ホームページアドレス	<a href="http://www.tsukubasyokuhin.com/">http://www.tsukubasyokuhin.com/</a>		
設立年月	1995年2月		
資本金	19,000千円	従業員数	43名
売上高	全体 467,000千円、認定事業の売上高 549千円		

※平成27年3月31日現在

#### 6. 認定事業の概要

テーマ名	古河産かぼちゃを活用した多用途調味料シリーズ等の商品開発・販売による地域ブランド化事業
テーマの概要	茨城県西地区の地域資源である「かぼちゃ」を活用して、当地域に来られる観光客や地域住民の方などのターゲットとしたかぼちゃ製品を開発する。古河市内で栽培された糖度12度以上の主力商品でソース等調味料に次ぐ新たな商品として今後4年間に亘り、製造・販売することで、新たな事業を確立することを目指す。
認定期間	平成23年11月1日～平成28年3月31日